

3 つの文献

1. 戸田 (2007) : 感情 : 人を動かしている適応プログラム, 東京大学出版会.
2. 戸田 (1987) : 心をもった機械 ソフトウェアとしての「感情」システム, ダイヤモンド社
3. Toda, M. (2000) : Emotion and social interaction : a theorethical overview. In G. Hatano et al. (Eds.), *Affective minds*, Elsevier, pp. 3-12.

提案 : 文献 2 を読みながら、文献 1 と文献 3 を参照。関係する話題を紹介。

準備

アージ理論 用語 (文献 1 pp. 25 – 29、文献 3 p.5)

- ・アージ (urge), ムード (mood-states), 感情的態度 (emotional attitude)

心理学 (実験心理学、臨床心理学)

- ・ 代表的研究者による教科書 N. Frijda (1986) : *The emotions*
K. Oatley (2013) : *Understanding emotions*
- ・ 基本感情 (basic emotion) : 感情表出 (表情)
- ・ 気分 (ムード) 一致性効果 記憶 記銘と再生
- ・ 現在は、個別の感情に関する調査研究が多い (学会誌: *Cognition and emotion*)

アージと社会 (文献 1 4 章以降 文献 3 pp. 5-7)

- ・利己的行動、協調的行動 : 社会心理学 ゲーム理論 : 配布資料 MEL より
- ・集団の構造、維持

戸田は、感情をどうみるか

- ・野生合理性 (wilderness rationality) : 生き延び (survival)
- ・fear と anger の例